



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

77

國家圖書館出版社



国家出版基金项目

國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

77

第七七冊目錄

昭和二年（一九二七）調査報告（第二十四期生）

支那煙酒稅

松代岡次

第一卷第一編

中國煙酒稅

中國鹽稅

内田正喜

第一卷第二編

中國鹽稅

印花稅について（附京兆に於ける警捐）

關於印花稅（附京兆的警捐） 梶村正義

第一卷第三編

二三五

一三七

京津駐在財政調查（借款に就て）

駐京津班財政調查（關於借款） 長谷川芳夫 第一卷第四編

二九九

滿蒙ニ於ケル鐵道調查

滿蒙鐵路調查

若桑省三郎

第二卷第一編

三九七

滿洲ニ於ケル國有通貨ニ就イテ

櫛部正暉

第二卷第二編

五六三

關於滿洲的國有貨幣

昭和三年一月

支那煙酒稅

第三十四期生

松代四次

東亞同文書院記稿辛巳十月

第一卷

京津經濟調查
第一編 文用 煙酒稅

上月周

書印

一章

煙酒稅 = 廣元史實及沿革

13頁

二章

煙酒稅 = 廣元現行法規

大一節

煙酒稅

大二節

牌照稅法

大三節

煙酒公賣

大一欽 煙酒公賣，沿革

大二欽 煙酒公賣 = 廣元現行法規

大三章

煙酒收入現狀

大一節

豫算額

大二節

實收額

大三節

送納額

大四節

柳門內情

58534338373533332113

第四章 煙酒稅、將來

第一節 支那ニ於ケル煙草酒需要

第二節 収稅上改革ヲ要スル諸点

第三章

煙酒

收入口ト倭希關係

第一節

内債

第二節

外債

第三節

米國、支那煙酒稅收入ニ關スル

郎達

113

97 89 87 82 79 79

(餘計)

一、支那ニ於ケル煙酒稅額徵ニヨル

損害

六、支那ノ葉煙草输入

支那煙酒税ニ關スル現状調査報告

(一) 煙酒税、解説ニ二様アリ。ソノハ煙草及酒ニ關スル
總テ、税ヲ云ニ、ソニニハ之ヨリ範囲狹小ニシテ酒及煙草
ニ關スル税、中、海關税、常關税、煙酒公賣税、煙酒牌
照税ヲ除キタルモノヲ云ニ、華通支那ニ於テ煙酒税
ト云フハ后者ヲ指ス。

(二) 支那ニ於ケル煙酒税ハ民三十ナリテヨリ、清末、煙酒
税法ニ新ニ牌照照稅法、公賣稅法ヲ加ヘ、近年未、
預算案ニ其、收額三千餘百万元ヲ計上シ、鹽稅、
地丁、海關税ニ次第歲入、ナ四位ヲ占ムルニ至レリ。

(三) 本税改革、成否ハ民不戯政恢復ノ一要素トシテ、
支那政府ハ勿論、本税ニ利害關係ヲ有スル列企々

之

亦之ヲ重視スルニ至レリ。

(四) 然レドモ地域、広大ト中央集権、実業ラサルガタ
、本税、有タル機能ヲ發揮スルアタハ柄柄、刺
民至十三白以後各省ニ戰フアリ、ソノ紊乱極ニ達
現狀、確實ナルモノヲミル能ハズ。

(五) 今ヤ支那内外舊整理並貢政改革ノ声囂シキ時
ニ当リ、本税、調査ヲナスモ亦必シモ矢用、業ニハア
ラサルベシ。

第一卷 支那煙酒税

第一章 煙酒課稅ニ關スル史案及沿革

支那ニ於ケル煙草、傳來ハ西暦一五七一年明穆宗隆慶五年、西班牙、比律賓ヲ占領シ、東洋、通商ニ從事シテヨリ數十包ヲ經、初メテ支那ト通商ヲ開キタルニ始リ、當時呂宋ヨリ澳門ニ输入セラル、煙草ハ支那内地ノ流行旺盛トナルニ伴ニ、益々増加セんモノ如シ、斯クテ明中葉以後一時凡ラナセシ煙草、吸飲モ、清初ニ至リテ、之ヲ有害物トスル風潮ヲ生ジ、清、高宗、乾隆時代ニ至リ、禁壓ノ手段ヲトリテ煙草百斤ニ付銀四錢六分ヲ常關ニテ徵收セルが如ク、仁宗、嘉慶、同治二七九六年（一一八二〇年）亦同様ノ事例アリ。

光緒十四年（一八八四年）ハ巨額ハ煙草故ニ對ニ特許

4.
税ラ、賦課ヒル事例アリ。

一方酒税ニ開シテハ、其歴史甚ダ古ク遠ク禹帝時代ニ初マレリ。禹代ニ儀狄ナルモノ酒、釀造法ヲ授ヘシ。三代ニ於テ既ニソノ禁制布カレタリ。之ガ税制ハ漢ハ武帝晚年賊政ノ窮乏ラ故ハシ爲メ種々ノ收税法ヲ施カシ、天漢三年醸造ニ對ニテモ酒權ト祿スル專職專賣制有ラ取レリ。之柳、起リナリ。ソノ後王莽ノ比ニ一時行ハレタルノミナルガ、南北朝ヲ経テ唐一代宗角、之ハジメ、德宗昭宗、時代ニ至リテ此ノ稅收ヲ以テ官費ニ当テタリ。嗣テ宋代ニ稅制稍々整ニ云家收入、十分ノヲ占メ、官費、教育費用、主西女ナル財源トナレリ。之ヨリ金ヲヘテ元代ニ盧世荣、獻弟ニテ稅制大ニ改更セラレ、收穫又頗ル増大シ、明代再び稅制ヲ改メ從

未或ハ釀造、原料タル麴ヤ穀物ニ對シテ徵稅ニ、或ハ專釀專賣ノ制ナリシモ、全ク廢止セラレテ純粹ナル酒稅制設ケラレタリ。

清代ニテハ貯代ヨリ傳ヘタル酒稅制及一時廢レタル觀アリシモ、清末ニ至リテ酒稅再び抬頭シ、山東直隸兩省ヲ初メトシ各省ニ課徵セラル、ニ至リタリ。山東、川撫張耀黃湯エコト經費補充ノタメ奏准シテ、燒鍋戶(高粱酒釀造家)ニ毎包營業稅三十兩ヲ課セリ。ソノ收入當初ニ於テハ差シテミルベキモノナカリシモ、光緒二十七年(一九〇一年)以未大ニ増加シタルヲ以テ、翌年直隸省又燒酒每百斤ニ付十六文ヲ課シ制罷造者又販賣商人ヨリソノ賣上勾款ニ應ジテ徵收セリ。カール向ニ各省ノ之ニ做フモノ増加シテ遂ニ全國ニ及び

便ニシテハレル煙草税ト共ニ所謂烟酒税ヲ形
成スルニ至レリ。光緒三十二年(一九〇六)时、
政府ハ練兵所ヲ設立シ、ソノ經費一千六百万兩、
籌備ノタメ茶稅、糖稅等ト共ニ本稅ヲソノ貢添
入シ、左表、如ク各省ニ割当テタル烟酒稅收入豫定
額ヲ登載セリ。

直隸	(八〇万兩)	奉天	(八〇万兩)	江蘇	(五〇萬)
廣東	(五〇万兩)	四川	(五〇万兩)	山西	(四〇五萬)
山東	(三〇万兩)	湖北	(三〇万兩)	江西	(三〇万兩)
浙江	(三〇万兩)	河南	(三〇万兩)	安徽	(三〇万兩)
湖南	(二〇万兩)	吉林	(二〇万兩)	甘肅	(一〇五萬)
陝西	(一〇万兩)	雲南	(一〇万兩)	貴州	(六五萬)
今當時、	税制ヲ考察スルニ、直隸、京、三省、江蘇、				

安徽、山東、山西、河南、各省ニアリテハ、他、諸稅制ト
大差ナク官辦タリシモ湖南、浙江、福建、江西、湖北、西
川、雲南、貴州、広東等、各省ハ官廳ニテ、大体、收稅
額ヲ見積リ、信用アル銀行商店等ヲニテ、該負徵收
制ニ採リ、又陝西省ニ於テハ整全制ヲ更改シタル
制ニ依標セル等、千差万別ナリキ。ソノ稅目ニ至リテモ、
稅、捐、又附加稅等ニ介レ稅率各地不同ナルハ又言ラ俟
タズ。尚茶稅、糖稅等ト共ニ煙茶稅、糖酒稅等、稅
目ノ下ニ徵收セラレタルモノアリキ。

民国成立シテ政府、財政ノ術ク急ヲ告ゲルヤ、民五
四包煙酒公賣ノ制ヲ施キテ其、政府、一助トナセリ。
是ヨリ煙酒公賣費及煙酒稅捐ハ共ニ國家重要稅
源一部ヲ構成シタルモ、近年各省ヨリ中央政府ニ送

納ニ未ル稅收ハ殆ニト云フニ足ラス。則ハ民五十三年以降
各省右獨立シ、中央政府へ対スル紛糾杜絕セリ。民五
十六年正、民党長江以南ヲ領ニテヨリ、全ノ南北對
立、姿ヲ呈シ何が眞、中央政府ナルカ判別シガタ
キマデニナレリ。